

# 施策評価シート（令和元年度～4年度）

分野	1 観光・交流
----	---------

評価責任者	所属	経済局 商工部 産業振興課
	氏名	課長 谷川 良英

政策	1 静岡のブランド力ある地域資源を活用した観光を推進します
----	-------------------------------

施策	1 模型の世界首都・静岡を活かした魅力づくり
----	------------------------

施策の目的	本市の主要な地場産業であるプラモデル業界の集積を活かし「ホビーのまち静岡」として国内外へ情報発信することで市のブランド化及び地域経済の活性化を図ります。 また、プラスチックモデル製品等の展示会等を開催する事業を促進することにより、地域経済の活性化と市のブランド化を図ります。
-------	--

## （1）総合評価

総合評価	令和元年度	A：施策の目的が達成されている。	理由	「静岡ホビショー」は、国内最大級のホビーイベントとして、毎年国内外から多くの人々が来場するとともに、小中高校生招待日を設け、学校単位での参加を促すことで小中高校生の来場数が増加。「クリスマスフェスタ」についても、老若男女が楽しめる体験型イベントとして定着し、例年と同程度の来場者が訪れた。「静岡ホビースクエア来場者数」は令和2年3月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、休館措置をとっており、来場者数が昨年度と比較して減少したものの、体験型イベントを通じて多くの人にホビーの楽しさをPRでき、全体の入込客数は目標値を上回った。よって総合評価はAとした。
	令和2年度	—	理由	—
	令和3年度	—	理由	—
	令和4年度	—	理由	—

※【評価基準】 S：施策の目的が十分に達成されている。A：施策の目的が達成されている。B：施策の目的があまり達成されていない。C：施策の目的が達成されていない。  
※総合評価は、原則、指標の達成状況（達成率）に基づき判断する。ただし、指標の分析結果や指標以外の成果等により、指標の達成状況（達成率）と異なる評価とする場合は、その理由を必ず記載すること。

## （2）成果指標

成果指標	指標名	現状値	年度	目標値	実績値	達成率（％）	評価	目標値の算出根拠	
	成果指標	関連施設・イベント入込客数（静岡ホビショー・クリスマスフェスタ・静岡ホビースクエア）	160,000人	1	160,000人	163,757	102.1%	a	平成27～29年度の平均値
2				160,300人	—	—	—		
3				160,600人	—	—	—		
4				161,000人	—	—	—		
			1						
			2						
			3						
			4						
			1						
			2						
			3						
			4						

指標以外の成果	・上記イベント、常設展示に加え、しずチカ展示、全日本ホビショー、ものづくり教育推進事業（プラモデルをテーマにした授業、静岡ホビショー小中高校生招待日に参加する小学校への支援）の実施、清水港開港120周年記念イベントと連携したホビーイベントのにおいて、「模型の世界首都・静岡」のPR等を行うことで、市内外の認知度の向上及び交流人口の増加を図った。
---------	--

※【評価基準】 s：105%以上、a：95%以上105%未満、b：85%以上95%未満、c：70%以上85%未満、d：70%未満

(3) 施策を構成する主要事業

主要事業名	主な活動内容	優先順位	年度	現計予算額	前年度からの繰越額	決算額	人工			達成状況
							正規	非常勤	臨時	
「ホビーのまち静岡」の推進	①クリスマスフェスタ開催に係る補助金交付 ②静岡ホビースクエアの施設管理 ③ホビーパークプロジェクトの実施 ④ものづくり教育推進事業の実施	1	1	82,202	0	78,638	0.4	0.0	0.0	○
			2	—	—	—	—	—	—	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
ホビーショー開催補助事業	①「静岡ホビーショー」開催助成 ②「全日本模型ホビーショー」出展助成	1	1	11,000	0	11,000	0.3	0.0	0.0	○
			2	—	—	—	—	—	—	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
			1							
			2							
			3							
			4							
			1							
			2							
			3							
			4							
			1							
			2							
			3							
			4							

※主要事業の優先順位は、各施策の目的や指標を達成する上で、重要度、貢献度などの観点から高いものから順位とする。  
 ※達成状況の凡例 (◎：計画より進んでいる、○：計画どおり進んでいる、△：計画より遅れている、—：計画上実施時期が到来していない)

(4) 今後に向けた見直し等

年度	課題	見直しの方向性
令和元年度	令和2年2月中旬以降、新型コロナウイルスの世界的流行により、イベント来場者数やイベント開催そのものに対して制限が発生しており、現在の指標である入込客数が指標にそぐわなくなっている。	実施事業等でアンケートをとり「模型の世界首都・静岡」に対する認知度等を調査することで指標とすることを検討する。
令和2年度	—	—
令和3年度	—	—
令和4年度	—	—

# 施策評価シート（令和元年度～4年度）

分野	1 観光・交流
----	---------

評価責任者	所属	観光・MICE推進課
	氏名	課長 岩田 智穂

政策	1 静岡のブランド力ある地域資源を活用した観光を推進します
----	-------------------------------

施策	2 世界に認められた地域資源のみがきあげ
----	----------------------

施策の目的	世界文化遺産富士山の構成資産として登録された三保松原をはじめ、日本夜景遺産に登録され、富士山の眺望の素晴らしい日本平など世界に認められた地域資源を活かし、ハード整備及びソフトの両面の視点で、世界中から人が集まるよう、事業を進めます。
-------	--

## （1）総合評価

総合評価	令和元年度	S：施策の目的が十分に達成されている。	理由	各施策を計画的に実施し、平成30年度にオープンした「みほしるべ」や「日本平夢テラス」等の施設による誘客効果を令和元年度も継続して取り込めたことで、目標値を大きく上回る成果を得られたため。
	令和2年度	—	理由	—
	令和3年度	—	理由	—
	令和4年度	—	理由	—

※【評価基準】 S：施策の目的が十分に達成されている。A：施策の目的が達成されている。B：施策の目的があまり達成されていない。C：施策の目的が達成されていない。

※総合評価は、原則、指標の達成状況（達成率）に基づき判断する。ただし、指標の分析結果や指標以外の成果等により、指標の達成状況（達成率）と異なる評価とする場合は、その理由を必ず記載すること。

## （2）成果指標

成果指標	指標名	現状値	年度	目標値	実績値	達成率（%）	評価	目標値の算出根拠
	関連施設・イベント入込客数 （三保松原、日本平、南アルプス等）		3,896千人 （H27～29の平均）	1	3,935千人	4,271千人	108.5%	S
2				3,974千人	—	—	—	
3				4,013千人	—	—	—	
4				4,052千人	—	—	—	
			1					
			2					
			3					
			4					

指標以外の成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>「南アルプスユネスコエコパークの認知度」の目標値49%（市政アンケートモニター）に対し、参考実績値（イベント等来場者アンケート）51%</li> <li>「みほしるべ」来館者数 約67万人（目標21万人）</li> </ul>
---------	--

※【評価基準】 s：105%以上、a：95%以上105%未満、b：85%以上95%未満、c：70%以上85%未満、d：70%未満

(3) 施策を構成する主要事業

主要事業名	主な活動内容	優先順位	年度	現計予算額	前年度からの繰越額	決算額	人工			達成状況
							正規	非常勤	臨時	
①日本平ナイトツーリズム推進事業	日本平からの夜景を核としたナイトツーリズム事業を推進 ・夜景サミット2019の開催 ・日本平の集客力向上 ・日本平夜景の魅力向上	3	1	8,400	0	5,812	0.3	0.0	0.0	○
			2	—	—	—	—	—	—	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
②有度山フレンドシップ協定の推進	「日本平久能山スマートI.C.」共用開始に合わせ、日本平ホテル等の協定参加者とともに、近接する宮川交差点にある野立看板に案内広告を掲出	3	1	201	0	98	0.1	0.0	0.0	○
			2	—	—	—	—	—	—	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
③三保松原保全再生事業	・富士山世界遺産登録6周年啓発事業の開催（6月22・23日） ・三保松原・マツ林保全ガイド発行（令和2年3月） ・リスク軽減事業（マツを病気から守る事業、倒木を防ぐ事業等） ・松原再生事業（マツの植樹事業等） ・マツの母樹園及び苗畑の整備のための用地買収（2件）	1	1	245,559	—	230,943	3.0	0.5	0.0	○
			2	—	—	—	—	—	—	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
④南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業	・ウェブサイトによる南アルプス情報発信事業 ・普及啓発事業 ・協議会関係事業	1	1	6,327	—	6,104	2.0	—	—	○
			2	—	—	—	—	—	—	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
⑤南アルプス周辺登山道整備事業	登山者の安全を確保する登山道、山小屋の修繕、工事等を実施 ・登山道修繕（茶臼岳、聖岳、千枚岳 他） ・山小屋修繕（百間洞山の家、熊野平小屋、高山裏避難小屋、ウソッコ沢小屋）	2	1	7,000	0	4,478	0.3	0.0	0.0	○
			2	—	—	—	—	—	—	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
⑥日本平公園整備事業	山頂施設整備 ・バリアフリー園路整備の用地交渉 平原ゾーン及びアクセス道路整備 ・平原ゾーン及び駐車場整備工事の実施 ・アクセス道路整備工事の実施	1	1	124,230	15,115	139,345	4.0	0.0	0.0	○
			2	—	—	—	—	—	—	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	

※主要事業の優先順位は、各施策の目的や指標を達成する上で、重要度、貢献度などの観点から高いものから順位とする。  
 ※達成状況の凡例（◎：計画より進んでいる、○：計画どおり進んでいる、△：計画より遅れている、—：計画上実施時期が到来していない）

(4) 今後に向けた見直し等

年度	課題	見直しの方向性
令和元年度	全体) 新型コロナウイルスの影響により、観光のあり方が大きく変わることが予想される ①夜景づくりやナイトタイムエコノミーの充実など、長期的な取組が必要 ③みほしるべの来館者数は目標を大きく上回ったが、三保松原の価値や魅力を広く発信し、来館者数を維持・増加させるとともに、訪れた人により地域が活性化する取組を充実させる必要あり ④登録5周年記念事業等により、「南アルプスユネスコエコパークの認知度」の成果指標は参考値ながら目標値を上回ったが、20代、30代の若い世代の認知度が低いことから、関心を高める取組の強化が必要	全体) 関係主体と連携のもと情報収集に努め、時勢に応じて、事業の内容や実施方法等について見直しを検討する。 ①夜間照明や夜景観光に関する有識者・民間企業等と連携ながら、庁内横断的な推進体制を検討する。 ③三保松原の保全活動やイベント等をSNS等を活用して積極的にPRを行うことで、三保松原の価値や魅力を情報発信していく。名勝及び世界文化遺産構成資産としての価値を保全しながら、ユニークベニューやイベント等の開催により地域の活性化、観光資源につながる体制を構築していく。 ④若い世代の認知度を高めるため、SNS等による情報発信の強化を進めるほか、民間企業等と連携した事業の実施や現地での体験機会の創出を進める。
令和2年度	—	—
令和3年度	—	—
令和4年度	—	—

# 施策評価シート（令和元年度～4年度）

分野	1 観光・交流
----	---------

政策	1 静岡のブランド力ある地域資源を活用した観光を推進します
----	-------------------------------

施策	3 徳川家康公をはじめとした歴史に触れ親しむ観光振興
----	----------------------------

施策の目的	静岡浅間神社との回遊性の向上を図りつつ駿府城公園の整備を進めるほか、東海道歴史街道まち歩き観光としておんぱくの実施による観光資源の掘り起しなど、静岡に存在する歴史的資産を活かした風格のあるまちづくりを推進します。
-------	--

評価責任者	所属	観光・MICE推進課
	氏名	課長 岩田 智穂

## （1）総合評価

総合評価	令和元年度	S：施策の目的が十分に達成されている。	理由	各施策を計画的に実施し、目標値を大きく上回る成果を得られたため。
	令和2年度	—	理由	—
	令和3年度	—	理由	—
	令和4年度	—	理由	—

※【評価基準】 S：施策の目的が十分に達成されている。A：施策の目的が達成されている。B：施策の目的があまり達成されていない。C：施策の目的が達成されていない。

※総合評価は、原則、指標の達成状況（達成率）に基づき判断する。ただし、指標の分析結果や指標以外の成果等により、指標の達成状況（達成率）と異なる評価とする場合は、その理由を必ず記載すること。

## （2）成果指標

成果指標	指標名	現状値	年度	目標値	実績値	達成率（％）	評価	目標値の算出根拠
			1	2,055千人	2,236千人	108.8%	s	
成果指標	関連施設・イベント入込客数 （歴史文化のまちづくり、久能山、東海道歴史街道）	2,005千人 (H27～29の平均)	2	2,105千人	—	—	—	
			3	2,155千人	—	—	—	
			4	2,206千人	—	—	—	
			1					
成果指標			2					
			3					
			4					
			1					
指標以外の成果	・今川義元公生誕500年祭記念事業「今川復権まつり」（令和元年5月3日～6日、5月19日） 総入場者数：151,305人 経済波及効果：7億8,000万円		2					
			3					
			4					
			1					

※【評価基準】 s：105%以上、a：95%以上105%未満、b：85%以上95%未満、c：70%以上85%未満、d：70%未満

(3) 施策を構成する主要事業

主要事業名	主な活動内容	優先順位	年度	現計予算額	前年度からの繰越額	決算額	人工			達成状況
							正規	非常勤	臨時	
①東海道歴史街道まち歩き観光の推進	東海道歴史街道で生まれ根付いてきた地域資源を活用した「駿河東海道おんぱく」の開催など観光商品の造成等を通じて、市内二峠六宿への誘客を目指すとともに、東海道ブランドを確立し「街道観光」を推進する。	2	1	19,893	0	18,794	2.0	0.2	0.0	○
			2	—	—	—	—	—	—	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
②朝鮮通信使発信・交流事業	①釜山朝鮮通信使まつりへの参加 ②朝鮮通信使講座実施	2	1	9,074	0	7,824	0.5	0.5	0.0	○
			2	—	—	—	—	—	—	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
③駿府城跡天守台発掘調査見える化事業	①常設見学ゾーン・発掘情報館「きゃっしる」での速報展示 ②現場見学会、講演会実施	1	1	19,384	0	15,256	3.0	2.0	0.0	○
			2	—	—	—	—	—	—	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
④歴史文化推進事業	①徳川みらい学会と連携した講演会等の実施 ②民間団体や関連自治体と連携した情報発信	2	1	2,768	0	2,479	1.0	0.5	0.0	○
			2	—	—	—	—	—	—	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
⑤歴史文化施設建設事業	①歴史文化施設の建設・展示設計 ②歴史文化施設の展示資料収集・調査 ③建設予定地の発掘調査	1	1	483,700	148,660	325,582	7.5	1.5	0.0	○
			2	—	—	—	—	—	—	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
⑥今川義元公生誕五百年祭推進事業	①今川義元公生誕五百年祭推進事業実施	1	1	66,000	0	66,000	0.5	0.0	0.0	○
			2	—	—	—	—	—	—	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
⑦駿府城公園再整備事業	①市民の憩いの場となる駿府城公園再整備の実施（H27～ ） ②発掘調査に支障となる公園施設の撤去及び移設（H27～29年度） ③天守台跡地の発掘調査（H28～R3年度） ④天守台跡地発掘調査の寄附金募集（H27～R3年度）	3	1	100,000	0	82,453	3.0	0.0	0.0	○
			2	—	—	—	—	—	—	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
⑧お堀の水辺（葵舟）活用事業	駿府城公園における新たな歴史観光コンテンツの一つとして、「葵舟」の運行を目指す。令和元年度は船舶購入・乗り場実施設計等、本格運行に向けた準備を進めた。今後は、誘客促進を目的に、旅行事業者をターゲットとしたプロモーション等を実施していく。	3	1	37,700	11,880	34,710	2.7	0.0	0.0	○
			2	—	—	—	—	—	—	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
⑨駿府城公園「桜の名所」づくり事業	①駿府城公園及び三の丸区域へ桜の植樹 ②駿府城公園内の桜活用盛土整備	3	1	566	0	566	0.5	0.0	0.0	○
			2	—	—	—	—	—	—	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	

※主要事業の優先順位は、各施策の目的や指標を達成する上で、重要度、貢献度などの観点から高いものから順位とする。

※達成状況の凡例（◎：計画より進んでいる、○：計画どおり進んでいる、△：計画より遅れている、—：計画上実施時期が到来していない）

(4) 今後に向けた見直し等

年度	課題	見直しの方向性
令和元年度	全体）新型コロナウイルスの影響により、観光のあり方が大きく変わることが予想される ①街道観光は、単独市域では完結しないため、東海道の各宿場と連携した広域化が必要 ⑦今後に検討・決定される駿府城天守台跡地の整備方針と整合を図り、「駿府城公園再整備計画」を見直す。 ⑧本格運行後における事業主体者の安定した経営環境を整える必要 ⑨駿府城公園「桜の名所」づくり事業の成果指標（目標値）である「桜の植樹本数」は、天守台発掘調査や歴史文化施設、市民文化会館の建替え等、区域が重複する関連事業の進捗による影響が生じている。	全体）関係主体と連携のもと情報収集に努め、時勢に応じて、事業の内容や実施方法等について見直しを検討する。 ①全国街道交流会議の成果及び日本遺産制度を活用し広域化を目指す。 ⑦関係課等との連携による発掘調査の継続。 ⑧観光客等へのプロモーション強化及び、市民に舟を身近に感じてもらう機運醸成に努め、乗船率を向上させ、収入増を図る。 ⑨関連部局と連携しながら引き続き、植樹を進めていく。
令和2年度	—	—
令和3年度	—	—
令和4年度	—	—

# 施策評価シート（令和元年度～4年度）

分野	1 観光・交流
----	---------

評価責任者	所属	経済局 海洋文化都市推進本部
	氏名	次長 野村 一正

政策	1 静岡のブランド力ある地域資源を活用した観光を推進します
----	-------------------------------

施策	4 お茶、しずまえブランドなど食の魅力のみがきあげ
----	---------------------------

**施策の目的** 静岡のブランド力ある地域資源を活用した観光を推進するためには、恵まれた自然環境や伝統に育まれた食の魅力を広く活用し、国内外から人を呼び込む観光事業に結び付けていく必要があります。特に観光は関連する産業のすそ野が広く、地域経済の活性化に大きな役割を果たすことから、まぐろ・お茶、しずまえなどの食の魅力をブランド力ある地域資源としてみがきあげ、広く情報発信していくことにより、国内外から多くの人々が訪れ、活発な交流が行われるまちの実現を目指していきます。

## （1）総合評価

総合評価	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	理由
	<b>A：施策の目的が達成されている。</b>				・イベントは開催できなかったが「まぐろのまち静岡」の市内外へのPRとしては、ポスターの掲出やチラシの配布を行うなど、予定どおり実施した。 また、新規企画のプランを検討する中で関係者との連携の強化を図るなど、一定の成果を得られたため、評価はAとした。 ・成果指標の実績が目標を大きく上回るとともに昨年も成果指標に掲げた本市における一世帯当たりの緑茶（リーフ）の「年間購入数量」及び「年間支出金額」が、ともに日本一であったことから、施策の目的が十分に達成されていると評価することができる。
		—			理由
			—		理由
				—	理由

※【評価基準】 S：施策の目的が十分に達成されている。A：施策の目的が達成されている。B：施策の目的があまり達成されていない。C：施策の目的が達成されていない。

※総合評価は、原則、指標の達成状況（達成率）に基づき判断する。ただし、指標の分析結果や指標以外の成果等により、指標の達成状況（達成率）と異なる評価とする場合は、その理由を必ず記載すること。

## （2）成果指標

成果指標	指標名	現状値	年度	目標値	実績値	達成率（％）	評価	目標値の算出根拠
			1	65,000	—	—	a	
成果指標	清水港マグロまつりの来場者数（「まぐろのまち静岡」の推進）	61千人（H22～25年度平均）	2	1,500	—	—	—	平成30年度実績（65,150人）の維持・拡大を目標に設定している。 ※令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮した開催の為、1,500人とした。 令和3年度以降の目標値については、今後の状況に合わせた数値を設定していく。
			3	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	
			1	200%	245%	122.5%	s	
	一世帯当たりの年間茶葉購入数量における静岡市と全国との比較	173%（H27～29平均値）	2	200%	—	—	—	「茶どころ日本一計画」がスタートしたH22から直近H29までの平均値（197%）を維持することを目標とし、設定した。
			3	200%	—	—	—	
			4	200%	—	—	—	
			1	18,540	18,000	97.0%	a	
	しずまえ・オクシズまつり来場者数	18千人（R1）	2	—	—	—	—	前年実績の3%増とする。 【外的要因】屋外で実施するイベントのため、天候に左右される。 ※R2は中止、R3の目標値はR1の実績値を基に算出した。 R4の目標値はR3の実績値で決定する。
			3	18,540	—	—	—	
			4	—	—	—	—	
			指標成果以外の					

※【評価基準】 s：105%以上、a：95%以上105%未満、b：85%以上95%未満、c：70%以上85%未満、d：70%未満

(3) 施策を構成する主要事業

主要事業名	主な活動内容	優先順位	年度	現計予算額	前年度からの繰越額	決算額	人工			達成状況
							正規	非常勤	臨時	
「まぐろのまち静岡」の推進	①清水港マグロまつり実行委員会への補助金の交付 ②清水港マグロまつり実行委員会への支援 ③首都圏PRの実施	1	1	6,500	0	4,455	0.8	0.0	0.0	—
			2	—	—	—	—	—	—	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
★「お茶のまち静岡市」推進事業	「静岡市茶どころ日本一計画」に基づく情報発信の強化やプロモーション ①JR静岡駅情報発信事業 ②「お茶のまち静岡市」ホームページ情報発信事業 ③「お茶のまち静岡市」ラッピングタクシー導入事業 ④「お茶のまち静岡市」首都圏等プロモーション事業	1	1	20,536	0	12,277	2.0	0.0	0.0	○
			2	—	—	—	—	—	—	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
★しずまえ鮮魚の普及推進	①「しずまえ新聞」の市内小中学生への配布（6月及び11月） ②「しずまえ漁業見学ツアー」の開催（10月） ③「しずまえ・オクシズまつり」の開催（10月） ④しずまえPR事業（通年）	1	1	7,330	0	7,025	1.5	0.0	0.0	○
			2	—	—	—	—	—	—	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
			1							
			2							
			3							
			4							
			1							
			2							
			3							
			4							

※主要事業の優先順位は、各施策の目的や指標を達成する上で、重要度、貢献度などの観点から高いものから順位とする。  
 ※達成状況の凡例（◎：計画より進んでいる、○：計画どおり進んでいる、△：計画より遅れている、—：計画上実施時期が到来していない）

(4) 今後に向けた見直し等

年度	課題	見直しの方向性
令和元年度	昨今の茶業を巡る厳しい状況の中で、本市が活力ある日本一の茶どころとして持続的に維持・発展し、茶生産農家はもとより茶業関係者が将来に希望をもって持続可能な安定した経営を可能とするためには、収益力が高く、もうかる茶業の実現が欠かせない。	各茶業関係者の大同団結のもと、新たに令和2年度からスタートする「第2次静岡市茶どころ日本一計画」を着実かつ確実に実行していくことで、第2次計画に掲げた目標指標の達成を図る。
令和2年度	—	—
令和3年度	—	—
令和4年度	—	—



# 施策評価シート（令和元年度～4年度）

分野	1 観光・交流
政策	1 静岡のブランド力ある地域資源を活用した観光を推進します
施策	5 オクシズの魅力を活かす交流促進
施策の目的	静岡市の中山間地オクシズにおける固有の魅力を地域資源として活用し、オクシズ地域の維持と振興を図ります。また、あわせてオクシズに生きる人たちと市街地をはじめとする都市住民との交流を促進し、静岡市全体の活性化を図ります。

評価責任者	所属	経済局 農林水産部 中山間地振興課
	氏名	課長 芝原 裕明

## （1）総合評価

総合評価	令和元年度	B：施策の目的があまり達成されていない。	理由	夏の猛暑や週末の天候不順、新型コロナウイルスの影響など外的要因の影響が大きく、入込客数は目標値を下回ったが、各施設の積極的な取組により、目標に対して90%近い入込客数を確保することができた。
	令和2年度	—	理由	—
	令和3年度	—	理由	—
	令和4年度	—	理由	—

※【評価基準】 S：施策の目的が十分に達成されている。A：施策の目的が達成されている。B：施策の目的があまり達成されていない。C：施策の目的が達成されていない。

※総合評価は、原則、指標の達成状況（達成率）に基づき判断する。ただし、指標の分析結果や指標以外の成果等により、指標の達成状況（達成率）と異なる評価とする場合は、その理由を必ず記載すること。

## （2）成果指標

成果指標	指標名	現状値	年度	目標値	実績値	達成率（%）	評価	目標値の算出根拠	
	成果指標	関連施設入込客数 （黄金の湯、安倍ごころ等）	649,000 （H27～H29の平均）	1	650,200	571,034	87.8%		b
2				650,800	—	—	—		
3				651,400	—	—	—		
4				652,000	—	—	—		
				1					
				2					
				3					
				4					
				1					
				2					
				3					
				4					
指標以外の成果									

※【評価基準】 s：105%以上、a：95%以上105%未満、b：85%以上95%未満、c：70%以上85%未満、d：70%未満

(3) 施策を構成する主要事業

主要事業名	主な活動内容	優先順位	年度	現計予算額	前年度からの繰越額	決算額	人工			達成状況
							正規	非常勤	臨時	
オクシズプロモーション事業	総合情報サイト「オクシズ」の運用及び、中山間地域の魅力情報紹介ツールの作成、広告・イベント出展等による地域情報の発信により、交流人口及び定住人口の増加を図る。	1	1	8,276	0	7,785	1.0	0.0	0.0	○
			2	—	—	—	—	—	—	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
市営温泉浴場保全整備計画	経年劣化の進行による損壊や機能低下が発生している各温泉施設の改修を行い、利用者の安全性確保と利便性、快適性の向上を図る。 ・梅ヶ島新田温泉浴場改修	2	1	0	0	0	—	—	—	—
			2	—	—	—	—	—	—	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
			1							
			2							
			3							
			4							
			1							
			2							
			3							
			4							
			1							
			2							
			3							
			4							

※主要事業の優先順位は、各施策の目的や指標を達成する上で、重要度、貢献度などの観点から高いものから順位とする。  
 ※達成状況の凡例（◎：計画より進んでいる、○：計画どおり進んでいる、△：計画より遅れている、—：計画上実施時期が到来していない）

(4) 今後に向けた見直し等

年度	課題	見直しの方向性
令和元年度	新型コロナウイルスの影響により、3月は、ほとんどの施設が臨時休業となってしまった。今後の各施設の来館者の受入れと新型コロナウイルス対策の両立が課題である。	今後の新型コロナウイルスの動向に注視し、来館者が安心して訪れることができるよう、必要な措置を講じていく。
令和2年度	—	—
令和3年度	—	—
令和4年度	—	—

# 施策評価シート（令和元年度～4年度）

分野	1 観光・交流
----	---------

評価責任者	所属	観光交流文化局 スポーツ交流課
	氏名	課長 長澤 秀紀

政策	1 静岡のブランド力ある地域資源を活用した観光を推進します
----	-------------------------------

施策	6 スポーツを通じた魅力づくりの推進
----	--------------------

施策の目的	本市スポーツ推進計画では、スポーツを「観る」、「する」、「支える」と大きく3つの視点で推進しています。そこで、市外や県外から静岡市にスポーツを「観る」、「する」ことを目的に本市を訪れたいと思う人を増やし、「支える」ことを目的にスポーツに参加する本市市民を増やすために、3つの視点に関連する全国規模の大会の開催や、静岡に根付くサッカー・野球の魅力を引き上げを行い、本市のスポーツの魅力を日本全国・世界に向けて発信します。
-------	---

## （1）総合評価

総合評価	令和元年度	<b>A：施策の目的が達成されている。</b>	理由	新型コロナウイルス感染症の影響により、プロサッカー、プロ野球などの試合が中止や無観客となるほか、静岡マラソンも中止となった。しかし、東静岡アート&スポーツ/ヒロバでは前年を大きく上回る入込客数となるなど、成果指標である「関連施設・イベント入込客数」は概ね達成することができたため、総合評価は「A」とした。
	令和2年度	—	理由	—
	令和3年度	—	理由	—
	令和4年度	—	理由	—

※【評価基準】 S：施策の目的が十分に達成されている。A：施策の目的が達成されている。B：施策の目的があまり達成されていない。C：施策の目的が達成されていない。

※総合評価は、原則、指標の達成状況（達成率）に基づき判断する。ただし、指標の分析結果や指標以外の成果等により、指標の達成状況（達成率）と異なる評価とする場合は、その理由を必ず記載すること。

## （2）成果指標

	指標名	現状値	年度	目標値	実績値	達成率（％）	評価	目標値の算出根拠
			1	1,411千人	1,346千人	95.4%	a	
成果指標	関連施設・イベント入込客数 （日本平運動公園球技場、草薙総合運動場等）	1,394千人 （H27～29平均）	2	1,429千人	—	—	—	第3次総合計画後期実施計画最終年度である令和4年度に現状値から5%増加することを目標に、各年度1%強の増加を目標値とした。
			3	1,446千人	—	—	—	
			4	1,463千人	—	—	—	
			1					
	2							
	3							
	4							
	1							
2								
3								
4								
指標以外の成果								

※【評価基準】 s：105%以上、a：95%以上105%未満、b：85%以上95%未満、c：70%以上85%未満、d：70%未満

(3) 施策を構成する主要事業

主要事業名	主な活動内容	優先順位	年度	現計予算額	前年度からの繰越額	決算額	人工			達成状況
							正規	非常勤	臨時	
静岡マラソンの開催	①静岡マラソン開催に係る静岡マラソン実行委員会への補助金交付 ②開催に伴う市関係機関との調整及び広報	2	1	45,000	0	37,736	0.6	0.0	0.0	○
			2	—	—	—	—	—	—	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
サッカー、野球によるまちづくり	①サッカーによるまちづくりとして、全国規模のサッカー大会の開催のほか、地域の賑わい創出やコミュニティ機能向上、青少年育成に関する事業などを推進。 ②野球によるまちづくりとして、市民野球熱の醸成を推進するイベント・大会の開催や情報発信等を実施。	1	1	42,732	0	34,033	3.0	1.0	0.0	○
			2	—	—	—	—	—	—	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
			1							
			2							
			3							
			4							
			1							
			2							
			3							
			4							

※主要事業の優先順位は、各施策の目的や指標を達成する上で、重要度、貢献度などの観点から高いものから順位とする。  
 ※達成状況の凡例 (◎：計画より進んでいる、○：計画どおり進んでいる、△：計画より遅れている、—：計画実施時期が到来していない)

(4) 今後に向けた見直し等

年度	課題	見直しの方向性
令和元年度	新型コロナウイルス感染症の影響により、関連施設・イベントの入込客数が大幅に減少することが想定される。感染症対策を実施した安心安全な大会運営や県外参加者の受け入れなどが課題となる。	今後の新型コロナウイルス感染症の影響を注視しながら、安心安全な大会運営、県外からの参加者の受け入れ方法などについて、各種団体とともに協議を行っていく。
令和2年度	—	—
令和3年度	—	—
令和4年度	—	—